

平成 30 年度 第 1 回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：平成 30 年 4 月 3 日（火） 14 時 30 分から 15 時 25 分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、佐藤副市長、代田教育長、寺澤総務部長、今村総合政策部長、北沢リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、小平建設部長、奥出建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、木下市長公室参与、吉村危機管理室参与代理北沢危機管理室副参事、赤羽目会計管理者、吉川議会事務局長、三浦教育次長、櫻井社会教育担当参事、関島消防長代理大藏消防次長兼総務課長、細田秘書広報課長、塚平財政課長、串原企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

年度始めの訓示で申し上げた通り、今年度は「小さな世界都市」の具現化に向け、大きな一歩を踏み出す年になる。世界人形劇フェスティバル、AVIAMA 総会、シャルルヴィル・メジール市友好都市締結 30 周年等のイベント及び関連事業の成功に向けて取り組んでいただきたい。また、“「志」の確認”、“当事者意識”について、今一度ご確認いただきたい。

昨日から本日まで千代野池の林野火災の対応にあたっており、12 時過ぎに鎮火となった。屋外でたき火をすることもあると思うが、不注意によって大きな火事が起きることがあるので注意していただくことを徹底いただきたい。今回の火災では、昨年の南信濃での林野火災の教訓を受け、早い段階で県を通じて自衛隊への要請をさせていただき、集中的に消火していただいたことで火災の範囲が広がらず、昨年に比較して早めの鎮圧・鎮火につながった。当県の防災ヘリがない中で、隣県に早めの対応をしていただき、そこから自衛隊にも早くつながり、うまく連携がとれたのではと思う。

年度始めということで、それぞれの部署において厳しい中においてもしっかりと対応していきけるよう、良いスタートが切れるようお願いしたい。庁内においても、横の連携をしっかりとることが重要だと思うので、今回のことを教訓にしながら本年度もよろしくお願いしたい。

<副市長>

3 月に新しい人財育成方針を策定し、「チーム市役所」という言葉を掲げているが、チームをチームとして機能させていくために、「のりしろを出す」ということを皆さんをお願いしたい。どういうことかというのと、一人ひとりが自分の職責をしっかりと果たすというのは当然のことだが、そこで終わってしまうと、どうしても互いの仕事ということで線が引かれてつながっていかない。チームがチームとして機能するには、お互いが少しずつのりしろを出し合って、つながるところを作ることが必要だと思う。のりしろを出し合う中で、お互いがサポートし合う、カバーし合うチームができればと思うので、職員一人ひとりが少しずつのりしろを出すということを心がけていただきたい。部と部、課と課の関係も同じように、お互いの仕事に少しずつ関心を持って、のりしろを出すという精神でやっていただければと思う。

関連して付け加えると、職員に成功体験を与えてほしいということをお願いしているが、今年は特に課内や係内などチームとしての成功体験ができたかと思っているので、それを心がけたマネジメントをしていただきたい。

また、今年度は「イクボス・温かボス宣言」を市役所として行うことになっている。例えば誰かが子どもが生まれて育休を取得するというときに、お互いにカバーするという風に、風通しの良い職場作りを引き続きお願いしたい。

<教育長>

組織の目的と手段ということについて話をさせていただく。本来、目的があってその目的を実現するために手段があるという関係性のはずが、目的を達成するための手段、その手段を達成するための手段という風にどんどん細分化することによって、本来の目的を忘れて手段が目的化して振り回されてしまうということが起こりがちだと感じている。

今、教職員の働き方改革ということで議論されているが、本来は子どもたちにもっと寄り添うために先生たちがやりがいのある環境を作ろうというのが目的だった。そこから、時間の管理をするためにタイムマネ

ジメントを導入しましょう、そのためにタイムカードを導入しましょう、その次には、タイムカードのシステムはどういうものがあるか進めていくと、次第には「タイムカード検討委員会」が出来上がってしまうのではないかと思います。時間の管理という面をとっただけでもそうだが、目的が細分化され手段になっていくと、本来の目的を見失いがちだと思ふことがある。本来の目的が何かというのを常に問い返して、職員が仕事をしていく中で、手段が目的化しないようにすることが大事かと思ふ。

経営の神様ピーター・ドラッカーは「そもそも組織は手段である」と、そして「それぞれの組織が目的を明確にすることで力を持つ」、さらに「公的サービスというのは常に計画や手続きや手段が多くなってしまうものだ」ということを言っている。そういったところをしっかりと認識しながら、いいだ未来デザイン 2028 の目的のため力が発揮できるように、手段が目的にならないように留意していくようお願いしたい。

2 協議事項

(1) 組織目標と進行管理について（総合政策部）

◇趣 旨：いいだ未来デザイン 2028 の実現に向けて、戦略計画と分野別計画が両輪で機能する必要がある。組織目標を設定する際には、戦略計画と分野別計画の両方を確認していただき、取り組まなければならないことに漏れがないように留意すること。いいだ未来デザイン 2028 の進行管理は、前年度の評価や提言を早ければ本年度の下半期に反映させることを可能とするものであり、そうした PDCA サイクルをしっかりと認識して取り組む必要がある。

◇論点・課題

- ・組織目標の設定は、戦略計画のほかにも、分野別計画の重点課題や懸案事項を加えるとともに、特に重要度の高いものは理事者等としっかり共有していく必要がある。
- ・緊急性の高い案件は、対応が遅れることのないように留意する必要がある。

◇主な意見等

- (教育次長) 組織目標については、戦略計画と分野別計画で目標設定をしているが、落ちている部分があるかもしれない。そこは企画課の部局担当職員から意見をもらうなど連携して進めていきたい。
- (総合政策部長) 各部課で組織目標についてしっかりと検討できるよう進めていきたい。
- (市立病院事務局長) 各課の目標設定、その先の個人目標設定との関係は。
- (企画課長) 部目標から直接個人目標につながらなくてもよい。部目標は部長として必要なものを位置付けていただき、そのうえで、個人の目標が設定できるよう課においては課レベルで中核となる項目を位置付けていただきたい。戦略計画と分野別計画にはまらない「その他」があればそれも位置付けていただきたい。
- (総合政策部長) いいだ未来デザイン 2028 の実現に向けて、戦略計画においては主管課が明示されており、各課が何をやるか明確になっており、それを集めたものが部目標という構造になっている。新たに部、課の目標を作り出すということではないことをご理解いただきたい。
- (教育次長) 個人目標の設定について、4月中に作ってしまったほうがよいと思う。そのためには前年度末までに部の組織目標はしっかり作ったほうがよい。
- (総合政策部長) 予算が決定した時点で戦略計画、分野別計画はできているはずなので、年度末までに組織目標は作れるように進めていきたい。
- (企画課長) 個人目標については例年人事課の通知により5月までとなっているが、人事課と調整して前倒しできるよう検討する。

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

(1) 平成 30 年度飯田市予算執行方針について（総務部）【参考資料】

◇趣 旨：年度当初にあたり、予算執行方針の確認を庁内に依頼する。

◇主な意見等

特になし

(2) 飯田市千代野池林野火災について（危機管理室・飯田広域消防本部）

◇趣 旨：林野火災の概況を報告する。

◇主な意見等

特になし

4 閉 会